

## ● デスクトップがファイルでいっぱいになっていませんか？

パソコンのフォルダを綺麗に整理するファイル管理術。整理するために、シンプルな3つの「ルール」を作ります。  
■ファイル:データそのもの。 ■フォルダ:ファイルを格納する本棚のような存在。

### 1. ファイル名は「日付+種類」で付ける

ファイルの頭に日付を入れること。ファイルが一覧になった時、日付の順番で並ぶので、ファイルのバージョンがそのまま並ぶ形になります。従って、ファイルのバージョン管理が非常に楽になるんです。

手紙をワードで書いたのが4月8日ならば、「20150408\_手紙」のようにします。

「つながりの記号」を決める。「20150408\_手紙」と、日付+種類の間をアンダーバー(\_)でつなぎました。よく使われるつながりの記号は、ハイフン(-)かアンダーバーです。

コンピュータが探しやすくしてあげるためには、検索が確実にヒットするようなファイル名のつけ方が有効です。

### 2 フォルダ名は短く！

ジャンル分けをきちんと行い、簡潔明瞭に。パッと見た時に、中にどんなファイルが入っているか分かるようにしておきましょう。

### 3 PC内も時には断捨離

使わないファイルは思い切って削除。でもまだ思いきれない。

その場合は、ファイルをゴミ箱に入れる前の「削除候補」フォルダを作ってみましょう。いきなり“完全削除”してしまうにはちょっと、という場合にも、とりあえず入れておける“削除候補フォルダ”は使えます。

年末の大掃除には、自分のPCもスッキリさっぱりさせて新年を迎えましょう！



## PLEASURE NEWS 編集

## 今月の一冊

今年も残すところ一か月となりました。毎年思うことですが、12月はなぜこうも気ぜわしくなるのでしょうか…。仕事も、日常のことも、きちんと終わらせないとお正月が来ないような気がして焦ります。新年を迎えるまでは、絶対に気を抜いたらいけない。体調を崩したくないので、毎日早寝早起き。このパターンがすっかり習慣になって、休みの日も同じリズムで夜眠くなり、朝目が覚めます。もはや年末年始は関係ありません。リズムはともかく、この気ぜわしさの正体はなんでしょうか。何かやり残してしまうかもしれないと、終わってもいないのに先に焦りがでちゃうんですね。予定通りに進まないことがあると、ますます焦りが募ったりして、もっとどーんと構えて、鷹揚な心持でいたほうがいいですね。焦っていいことは一つもないし。忘年会もクリスマスも、楽しみにする気持ちを忘れちゃあいいけません。

ともかく！  
気ぜわしい12月、ONとOFFのメリハリをつけながら、仕事は誠実で正確に。生活もきちんと楽しんで、いい一年だったと思える締めくくりにします！



### 「うつくしい人」 著:西加奈子

西加奈子さん。初読みです。最初はどうにも主人公の百合が好きになれませんでした。イライラとときどき、ムカムカとして。でも、ドイツ人のマティアスに部屋で説教する場面から、少しずつ印象が変わっていきます。いいシーンがたくさんありました、カートに乗るシーン。図書館で写真を探すシーン。心をうつすような海の描写。バーで飲むビール。旅が終わったその後、百合がどう変わっていくのかを知りたい。その後3人がどうなっていくのかも、姉との関係も。読み出しの印象とは違う、明るい予感がする、いい終わり方でした。

#### 【内容】(「BOOK」データベースより)

他人の奇立ちに怯え、細心の注意を払いながら重ねていた日々を自らぶちこわしにした百合。会社を辞め、「ただの旅」で訪れた島のリゾートホテルのバーにいたのは、冴えないがゆえに百合を安心させるバーテンダー坂崎と、暇を持て余す金髪のドイツ人、マティアスだった。美しい瀬戸内海の離島、そこしかないホテルで不思議に近づく三人の距離。地下には、宿泊客が置いていく様々な本が収められた図書室がある。本に挟まっていたという一枚の写真を探すため、ある夜、三人は図書室の本をかたづけから開き始める。会社を逃げ出した女、丁寧な日本語を話す美しい外国人、冴えないバーテンダー。非日常的な離島のリゾートホテルで出会った三人を動かす、圧倒的な日常の奇跡。

